

土砂災害対策

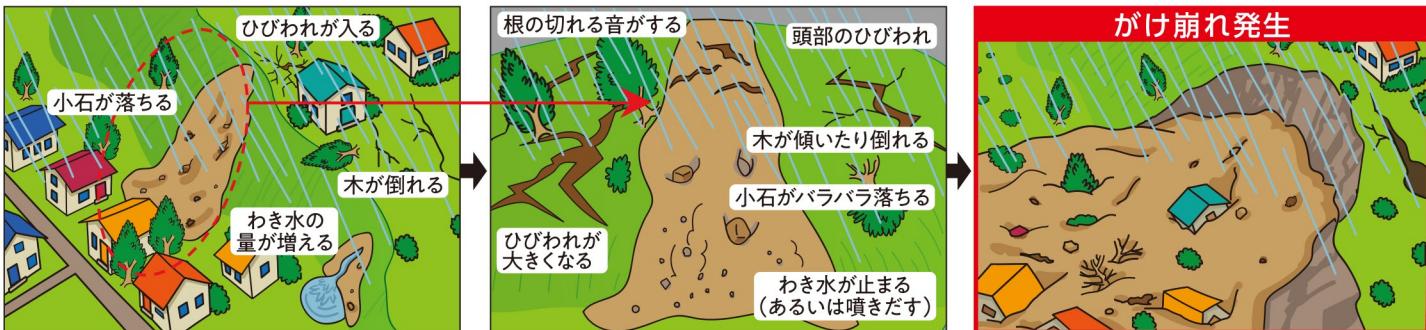
土砂災害とは？

土砂災害は、台風、大雨、地震などにより発生しやすくなります。斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる「がけ崩れ」、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される「土石流」、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する「地すべり」があります。また、土砂災害が発生する前には、さまざまな前兆現象が起こる時があります。

土砂災害の前兆・種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害が発生する割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畠などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



土砂災害の予防策

日ごろから避難する場所や道路などを確認しておきましょう。家の近くにがけのある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。

